

目次	社長ごあいさつ	特集	環境への取組み	安全・安心の取組み
社会変化への対応	地域社会への貢献	人材資源の活用	管理体制の整備	

# Topics

## 駐車場への宅配便ロッカー設置による物流負荷問題への貢献

近年、インターネット通販の普及拡大により宅配便の配達数が増加するとともに、核家族化や共働きの増加により不在再配達が増加、物流を担う企業の過負荷が社会問題となっています。

その解決策の一つが、ロッカーに宅配業者が荷物を預け、それを受取希望者が好きな時間に取り出せる「宅配便ロッカー」です。便利な宅配便ロッカーですが、その数はまだまだ不足しており、大規模なマンションではロッカーがいっぱいで使えないという事態も発生しています。

東京建物グループの日本パーキングでは、運営する時間貸し大型立体駐車場を中心にPackcity Japanが展開する宅配便ロッカーの設置をはじめました。駐車場利用者はもちろん、ロッカーだけでも利用が可能。さらに複数の宅配業者が利用できるオープン型なのが特長です。

2017年5月に浦和駅前、南大沢駅前、大宮駅東口、若葉駅西口の4ヶ所でスタートし、2017年12月末時点で6ヶ所、合計204口を展開しています。

### 宅配便ロッカー設置実績(2017年12月末時点)

名称	台数	ロッカー数
NPC24H 浦和駅前パーキング	225台	45口
NPC24H 南大沢駅前パーキング	364台	45口
NPC24H 大宮駅東口パーキング	240台	27口
NPC24H 若葉駅西口パーキング	401台	27口
NPC24H 相武台駅前パーキング	238台	30口
NPC24H クイック池袋パーキング	40台	30口



NPC24H南大沢駅前パーキング(屋外設置)

## 働き方の変化を後押しする「+OURS」の展開

働き方改革のためには、生産性の向上とテレワークをはじめとした多様な働き方ができる環境が重要です。また、スタートアップ企業と共同で新規事業創出のための「オープンイノベーション」に取り組む大手企業も増えています。スタートアップ企業においては、機動的に利用できる安価なワーキングスペースが求められています。

東京建物では、多様な働き方に対応できる会員制シェアオフィス「+OURS(プラスアワーズ)」を2017年7月からスタートしました。サービスオフィス(法人登記可能な1~16名用の家具付オフィス)とコワーキングスペース(フリーアドレス制のオープンラウンジ)を用意し、多様な働き方のニーズに応えつつ、利用者同士の交流も促進します。2号店である新宿店のコワーキングスペースには、集中して作業するゾーンと交流を促進するゾーンを設定。より細かなニーズにも対応します。

また東京建物は、株式会社日本政策投資銀行が実施する「DBJコネクト」(オープンイノベーションによる新規事業創出支援プログラム構築)の趣旨に賛同し、本プログラムの参画企業(スタートアップ企業を含む)に対して、プログラム期間中、本施設のコワーキングスペースを無料で開放して

います。2017年12月末時点で首都圏における2大メガターミナル駅至近の八重洲(東京駅)、西新宿(新宿駅)の2ヶ所を運営しています。

### 施設概要

	+OURS 八重洲	+OURS 新宿
面積	約 380 m <sup>2</sup>	約 898 m <sup>2</sup>
サービスオフィス	計 17 室	計 28 室
コワーキングスペース	計 39 席	計 76 席
営業時間	平日 8:00 ~ 20:00 (サービスオフィスは 24 時間入室可)	



「+OURS新宿」のコワーキングスペース